

## アイダホ州：小麦作柄と気象状況

2003年8月12日

### 2003年8月10日現在：

8月10日に終わる週には予想外の降雨が週各地で記録されたが、小麦の収穫作業を阻害するほどではなかった。気温は前週より多少落ちたが、平均気温は平年を1~4F上回った。州平均農作業日数は6.8日（前週：6.9日）であった。土壌水分は多少前週より落ちた。

冬小麦の収穫は順調に進行した。8月10日現在全州の59%で収穫が終了した（昨年：34%、平年38%）。7月の高温・乾燥気象が収穫を早めた。単収と品質は場所に寄り大きな振れを示していると発表された。北部地区のソフト小麦の容積中は平均60.5~61.31b/buを示したが1000粒重は28.2~25.1gと他の地区より低い数値が報告された。蛋白質（水分12%ベース）は8.7~11.6%と幅がある。春小麦も例年より早く収穫期を迎え、全州の18%が収穫された（昨年：8%、平年：14%）。7月からの高温・乾燥は春小麦の作柄評価は落とした。

8月1日付けUSDAの冬小麦生産量予想では別表の通り。冬小麦の単位収量は7月1日予想と変わらず82.0 bushels/acreであったが、春小麦の単位収量は3bu/a落ち63.0bu/acreとなった。高温・乾燥が単収を落とす結果となった。

### Topsoil 土壌水分：

Topsoil	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	34	41	25	0
Last week (%)	33	41	26	0

### 灌漑用水：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Water supply (%)	11	23	37	28	1

### 小麦作柄状況：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Spring Wheat (%)	0	14	23	51	12
Winter Wheat (%)	0	1	32	47	20

### 小麦進捗状況：8月10日現在

	North			S. W.			S. Cent.			State		
	8/10	A	Ave	8/10	A	Ave	8/10	A	Ave	8/10	A	Ave
Spring Wheat Harvested (%)	19	3	7	82	75	53	23	8	15	18	8	14
Winter Wheat Harvested (%)	45	15	29	90	82	72	84	63	44	59	34	38

A:2002年同期。 Ave:5年平均

Source：Idaho Agricultural Statistics Service

次のページへ

8月1日付け農務省発表小麦生産量予想：

	Area Harvested 1000 Acres		Yield Bushels/Acre			Production 1000 Bushels	
	2002	2003	2002	2003		2002	2003
				July 1	Aug 1		
Winter	690	720	79.0	82.0	82.0	54,510	59,040
Spring	510	460	65.0	66.0	63.0	33,150	28,980

当該作柄レポートへのご質問は下記宛てにお願い致します。

小川正晃 : E-mail [ogawa.max@omicnet.com](mailto:ogawa.max@omicnet.com)